

水質汚濁防止

事例名	7. 汚水流出防止
工事名	畑地帯総合整備事業
施行場所	五島市下崎山町
事業年度	H10～H20
実施機関	五島支庁農村整備課
適応可能な事業	河川

<具体的な環境配慮内容>

畑地帯の区画整理工事を実施する際、最下流部に沈砂地、及び濾過堤の設置を行う。

<環境配慮の目的と視点>

地区に面する海岸一帯は、優良な漁場・磯場になっており、畑地の区画整理の施工時及び完成後、降雨に伴う濁水により、海底へのヘドロの堆積や水質悪化が懸念される。よって、海岸に生息する生態系への影響を軽減するため、沈砂地及び濾過堤を設置した。

<環境配慮技術の概要>

沿岸には、ヒジキ・ワカメ等が生息しており、これらの保全のため、各排水路の最下流部に沈砂地を設け、土砂の沈殿・濁水の浸透を図るとともに、池内に栗石とシートによる濾過堤を設置、また海岸にも濾過堤を設置して土砂の流防を極力抑える。



沈砂地を上流側から望む



沈砂地を下流側から望む



海岸の濾過堤

< 環境配慮による効果 >

土砂の流防が抑制されている。

< 課題等 >

沈砂地に堆積した土砂の撤去と、濾過シートの清掃を年数回行う必要があり、維持管理を行う土地改良区の負担となっている。

< 同技術を採用した他の事例 >

工事名称	実施機関
畑地帯総合整備事業山田原地 (吾妻町)	島原振興局土地改良課